

承認

本従業員、勤績年数八分四、身議ニ依リ、
ケル、コトナシ

右ノ條件ヲ以テ、出満解決ニシテ、上ハ明日、
方一層融和齟齬ノ精神ヲ以テ、業務ニ従事ス

大正十二年十一月廿六日

中山登代表 南貞太郎
職工代表 佐村壽造

尼崎市長 上村登造 殿

株式会社日本製鋼所 廣島工場 爭議

一 原因

本工場ハ東京ニ本社(資本金 三千五百圓)ヲ有シ、大正九年ノ創
ニシテ職工六一九(内爭議者四五〇)人ヲ有シ、專ラ海軍工廠
又ハ陸軍諸官衛ノ艦船用諸機械、器具ノ製作ヲ
スモノナルガ戰後、敗戦ノ不況、軍備縮小ノ影響ヲ
蒙リ、事業縮小ノ必要ニ迫ラレ、大正十一年五月職工
ノ整理ヲ断行シタルガ、同工場所屬職工ヲ以テ組織